

IBISStation

Edit/Tune/Create/Indicate **IBIS** As your Wish

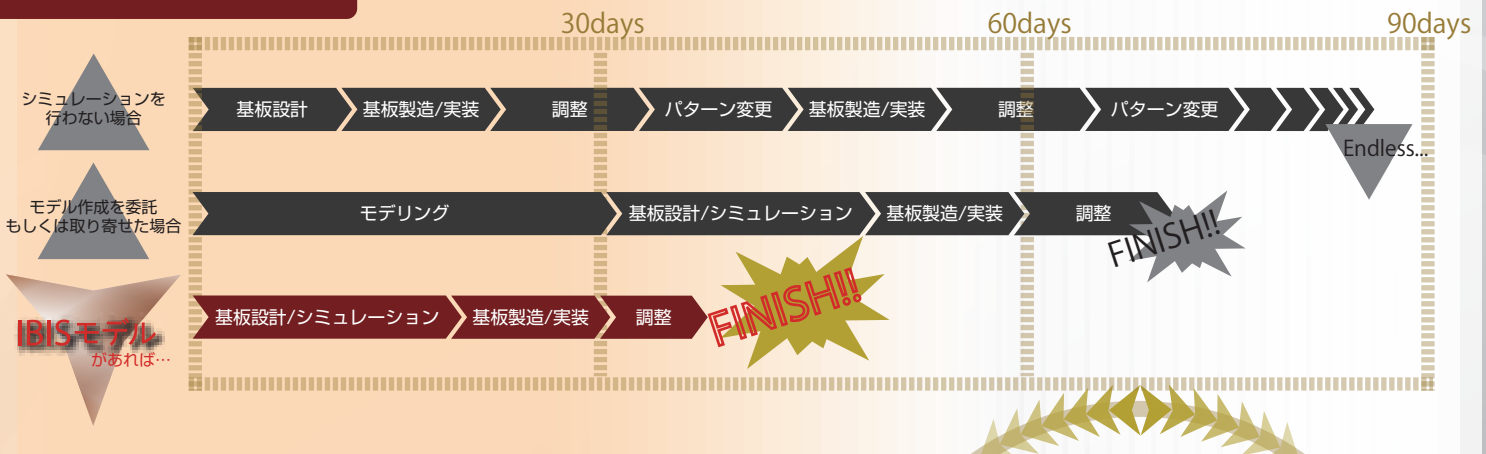
高品質なIBIS環境システム **IBISStation**

IBIS[※]の作成・編集・チェック、更に伝送路を考慮したSI検証までトータルサポートします。

- * 入手したIBISモデルを、お使いのシミュレータに合わせて簡単編集
- * IBISモデルが入手できない場合、負荷回路とTr/Tfからモデル生成可能
- * テキストエディタでは困難なIBISファイルの補正作業を、ビジュアル操作で簡単編集
- * IBISモデルを選択する際、簡単な設定で負荷回路を含めた波形検証が可能

※ **IBIS** : **I/O Buffer Information Specification**

シグナルインテグリティ解析は
IBISモデルが決め手です!!



IBISStationには
IBISBuilderとIBISIndicatorが含まれます。

IBISIndicator™
観る・チェック・直す

IBISBuilder™
作る・調べる・直す

IBISモデル

伝送線路シミュレータ
モデル生成・解析・検証・対策



IBISStation

IBISStation + 伝送線路シミュレータ
で高精度のシグナルインテグリティ解析を実現

従来の問題点とIBISStationによる解決策

*入手したIBISモデルがそのまま使えない

IBISのV-I特性データがIBISシミュレータでエラーとなり、シミュレーションが実行できない
→ノンモノトニック補正 (IBISIndicator)

*IBISモデルが入手できない場合がある

→負荷回路とTr/Tfからモデルを生成 (IBISBuilder)

*IBISモデルの編集作業が面倒である

→グラフィカルな編集 (IBISBuilder)

*FPGAのIBISの中には数多くのコンポーネント(パッケージパラメータ)が入っており
必要なものだけを残したい

→不要なパッケージパラメータ削除

*FPGAでは各IOピンに対し、ドライブ能力が異なるセルが用意されており
モデルセレクトを用いて記述される場合が多い

この場合、モデルセレクトに対応していないシミュレータでは使用できない →ピンアサイン編集

*WaveFormデータが記述されているモデルで、シミュレーション時に波形のデューティが
正しく再現されない場合がある

→WaveFormの削除

*IBISモデルを選択する場合に負荷回路を含めて波形での検証が必要となるが、
条件設定が面倒で簡単に検証できない

→簡単に検証 (伝送線路シミュレータ)

■ IBISStation実行条件・動作環境

・IBIS format	: ~Ver.4.1 準拠
・コンピューター本体	: PC/AT互換機
・CPU	: Intel PentiumⅢ 1GHz以上、及び左記以上の互換CPU各種
・メモリー	: 256MB以上
・ディスプレイ	: XGA 1024×768 ハイカラー 以上
・その他のハードウェア	: ネットワークカード
・OS	: Windows2000(SP2以降)/2003Server/XP Pro(SP2) 他にネットワークコンポーネントとして、TCP/IP、IPX/SPX互換プロトコル
・HD容量	: IBISStationインストール用に40MB、 インストール時にはワークエリア(10MB)を加えて50MB
・License	: Node Lock (Mac Address)/Network (Mac Address or USB Dongle)

<http://www.cybernet.co.jp/ibis/>

・Windows及びWindows2000(SP2以降)/2003Server/XP Pro(SP2)は、Microsoft Corporationの登録商標です。
・Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。

CYBERNET

サイバネットシステム株式会社

本社 〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフトビル
Tel: (03)5297-3324 Fax: (03)5297-3646

西日本支社 〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町3-5-7 御堂筋本町ビル 7階
Tel: (06)6267-2670

<http://www.cybernet.co.jp>

e-mail : ibis@cybernet.co.jp

お問い合わせ: